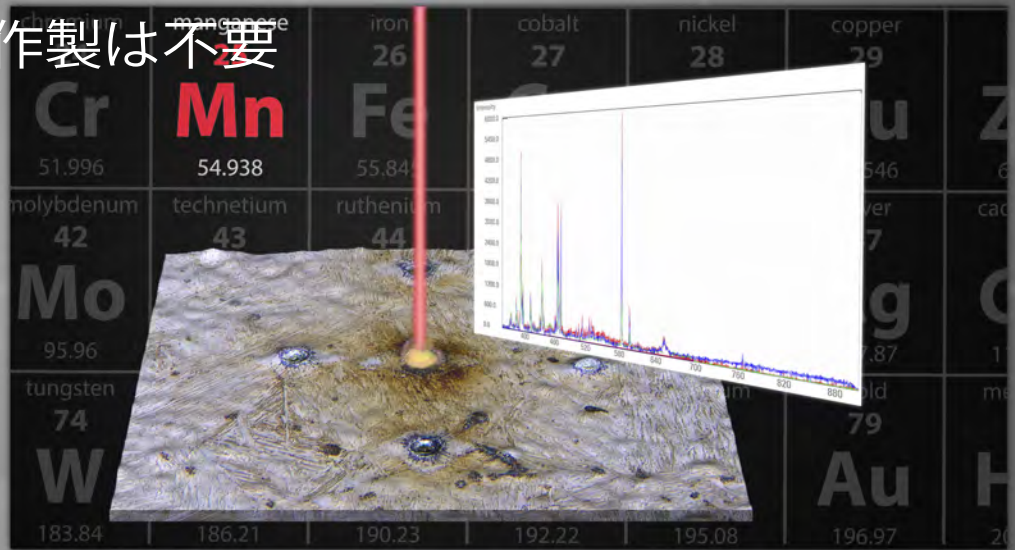


2 システムを 1 つに統合、拡大観察と組成分析が 1 台で

1 秒で元素分析

0 特別な試料作製は不要

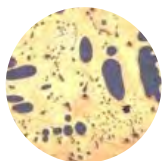


DM6 M LIBS 材料分析ソリューション

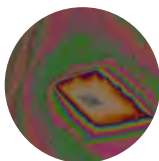
目視検査と組成分析を 1 台で、 所要時間を 90% 節約

DM6 M LIBS は 1 台で目視検査と組成分析が可能なシステムです。サンプル表面に短パルスでレーザーを当てることで発生するマイクロプラズマを用いた高速な化学分析手法で、数秒で対象の組成を同定します

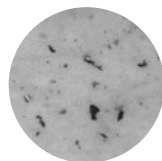
解析分野例



金属組織学



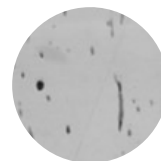
地球科学



コンタミ・パーティクル検査



科学捜査



非金属介在物



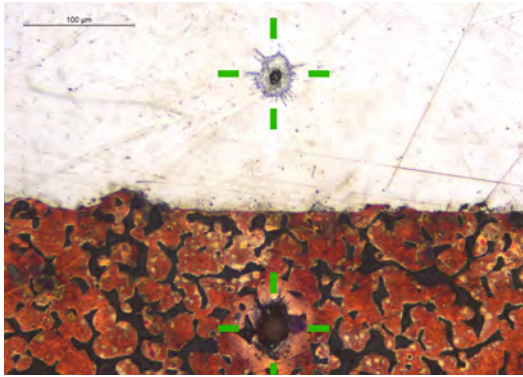
薬学

迅速かつ正確な結果をもたらす

ライカ顕微鏡と LIBS モジュールを組み合わせ、外観検査と元素分析を 1 台で、スピーディに実施できます。従来の走査型電子顕微鏡 (SEM) / エネルギー分散型 X 線分析 (EDS) によるワークフローに比べて、所要時間を 90% 節約します。検査後、試料表面のコンタミやコーティング材をピックアップするのも容易で、化学マッピングやマイクロドリリングにも対応できます。

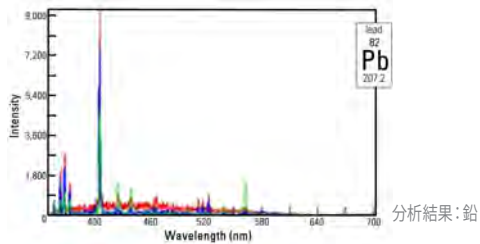
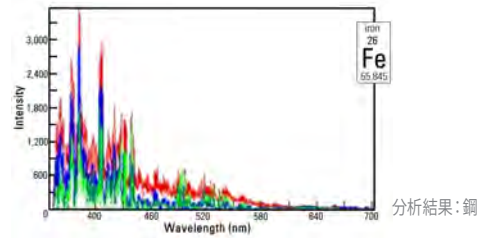
ワンクリックの簡単操作

顕微鏡の接眼レンズまたはカメラを通じて観察中の部位を、ワンクリックで迅速・簡単に分析、評価できます。新しい経験や知識は不要です。



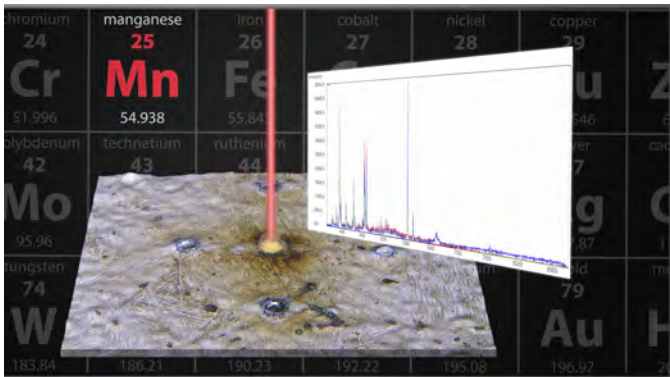
組成分析が高速に

光学顕微鏡の観察環境で、試料に関する基本的情報と解釈が、数秒で得られます。試料を装置間で転送する必要がなく、観察領域を見失ったりする心配がありません。



LIBS による分析

LIBS は、Laser Induced Breakdown Spectroscopy の略で、レーザー誘起ブレークダウン分光法を意味します。サンプル表面に短パルスでレーザーを当てることで発生するマイクロプラズマを用いた高速な化学分析手法です。金属、半導体、ガラス、生体組織、絶縁体、プラスチック、土壌、植物、表面塗料、電子材料等、幅広いマトリクスに対応可能です。



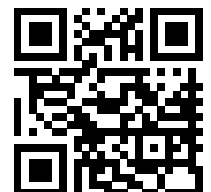
LIBS – 火星の調査にも活躍

LIBS は堅牢かつ信頼性が高いだけでなく、他の元素分析技術と異なり、試料作製が不要です。LIBS を用いた元素測定は NASA の火星探査ローバー「Curiosity」によっても既に実証されています。



火星探査ローバー「Curiosity」に装備された LIBS 分光分析装置
画像提供: NASA/JPL-Caltech (NASA ジェット推進研究所、カリフォルニア工科大学)

CONNECT
WITH US!



Leica Microsystems GmbH | Ernst-Leitz-Strasse 17–37 | D-35578 Wetzlar (Germany)
Tel. +49 (0) 6441 29-0 | Fax +49 (0) 6441 29-2599

www.leica-microsystems.com/libs